

地域スポーツ連携・協働再構築推進プロジェクト

令和5年度予算額（案） 19,572千円
 （前年度予算額） 28,512千円



背景・課題及び事業目的

地域のスポーツ活動は、住民の体力や健康の保持増進だけでなく、地域コミュニティの維持にも重要な役割を果たしており、地域課題を解決するために、市町村・地域レベルで行政と関係者（学校、スポーツ関係団体、民間企業等）が連携体制を構築し、以下の取組等により、地域住民が、自走可能なものにしていけるように実証事業で支援する。

- 【実施例】
- 市町村・地域において行政と関係者（学校、スポーツ関係団体、民間企業等）が連携体制を構築。
 - 関係者をつなぐコーディネーター等を活用し、優秀な指導者を地域やクラブの枠を超えて活用する等それぞれのスポーツ団体や民間企業等の強みを生かした活動の展開。
 - 埋もれている多彩な指導者の発掘・創出による地域スポーツ推進体制の強化。
 - 地域住民が集まりやすく、気軽に活動できる地域スポーツ拠点の創出。
 - 地域の関係団体の強みや施設を活用し、様々なスポーツ活動を体験できるようなイベント・キャンプの開催 等

事業内容

- 受託先：都道府県
- 件数・単価：2 都道府県×約950万円
- 費目：謝金、旅費、貸借料、消耗品、会議費等
- 下記4つの課題を選択し（複数選択可）、連携体制構築による地域課題解決を実施

① 既存スポーツ関係団体等のそれぞれの強みを生かしたスポーツ活動の展開

③ 既存公共施設等を活用した地域に根差したスポーツ環境の創出

② 多様な住民のニーズに対応できる多様な指導者の発掘・創出

④ スポーツを通じた地域における共生社会の実現に向けた取り組み



アウトプット（活動目標）

- 各関係団体の連携した取り組みの増加
- スポーツ活動に参加する住民の増加
- 多彩なスポーツ活動の展開
- インクルーシブなスポーツ活動の展開

アウトカム（成果目標）

初期（令和4年頃） 各団体の取り組み例の増加
 中期（令和5～7年頃） 地域住民が集まる地域スポーツ拠点増加
 長期（令和8年頃） 地域のスポーツ人口が拡大

インパクト（国民・社会への影響）

- スポーツを通じた地域コミュニティの活性化
- 明るく豊かで活力のある地域の創出
- 地域住民の医療費削減